

岩手県感染症週報

平成16年第38週（9月13日～9月19日）

岩手県結核 感染症情報センター

第38週の概要

1類感染症 } 患者発生はありませんで
 2類感染症 } した。
 4類感染症 } 5類感染症（全数把握対象疾患）
 ・患者発生はありませんでした。

3類感染症

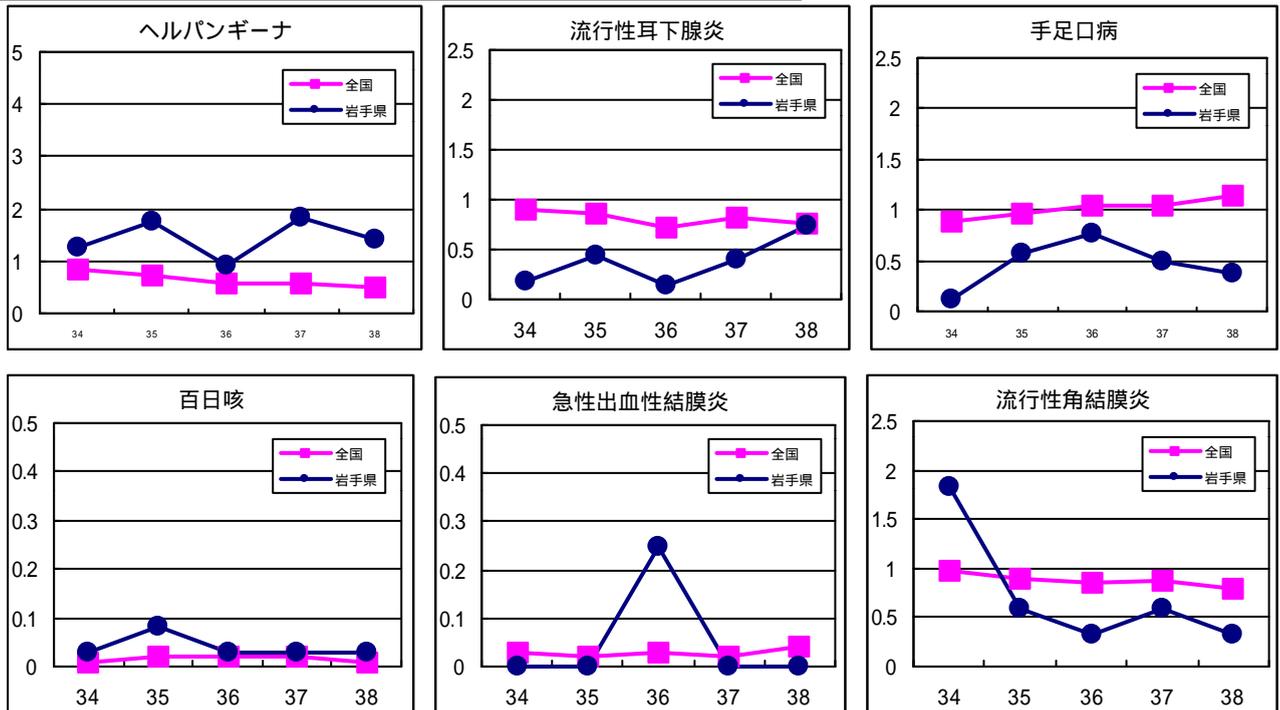
・O157などの腸管出血性大腸菌感染症は、この週には県内では患者発生の報告はありませんでした。本県ではこれまでに64例の患者が発生しており、昨年同期の49例を大きく上回っています。例年、11月頃まで患者発生が続くので、今後とも注意が必要です。

5類感染症（定点把握対象疾患）

- ・手足口病は、前週に警報値（定点当たり患者数が5.0人）を超えていた久慈地区で、この週には同患者数2.0人と減少しました。
- ・百日咳は、宮古地区で患者発生が続いており、この週には1名の報告がありました。
- ・ヘルパンギーナは、北上地区で患者が多い状態が続いており、前週から引き続き警報値（定点当たり患者数6.0人）を超えています。
- ・流行性耳下腺炎は北上地区で増加し、警報値（定点当たり患者数5.0人）を超えています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		34	35	36	37	38		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
咽頭結膜熱	岩手県	0.32	0.29	0.16	0.05	0.14	→	
	全国	0.49	0.42	0.34	0.29	0.22		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.34	0.29	0.3	0.51	0.35	→	
	全国	0.43	0.49	0.52	0.56	0.57		
感染性胃腸炎	岩手県	1.13	1.21	1.11	1.03	1.41	→	
	全国	2.26	2.37	2.37	2.42	2.44		
水痘	岩手県	0.47	0.18	0.38	0.43	0.43	→	
	全国	0.48	0.47	0.44	0.44	0.43		
手足口病	岩手県	0.11	0.58	0.76	0.49	0.38	↘	
	全国	0.89	0.97	1.05	1.04	1.15		
伝染性紅斑	岩手県	0.24	0.29	0.22	0.24	0.08	→	
	全国	0.15	0.19	0.19	0.18	0.15		
突発性発疹	岩手県	0.76	0.74	0.57	0.54	0.68	→	
	全国	0.75	0.93	0.86	0.85	0.85		
百日咳	岩手県	0.03	0.08	0.03	0.03	0.03	→	
	全国	0.01	0.02	0.02	0.02	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	1.26	1.76	0.92	1.84	1.43	→	
	全国	0.85	0.74	0.58	0.57	0.48		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.18	0.45	0.14	0.41	0.73	↗	
	全国	0.9	0.85	0.72	0.81	0.76		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0.25	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.03	0.02	0.04		
流行性角結膜炎	岩手県	1.83	0.58	0.33	0.58	0.33	→	
	全国	0.98	0.9	0.86	0.87	0.79		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	28	33					
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.1	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.09	0.06	0.07	0.06	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.2	0.15	0.2	0.25	0.15	→	
	全国	0.22	0.22	0.16	0.2	0.15		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）		（患者発生数）							
分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 34	35	36	37	38	累計	38	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	1	4	65
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	3	14	414
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	49
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	5	61
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	6	10	15	0	64	96	2914
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	7	417
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	22
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	31
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	4	208
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	6
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	2	84
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	118
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	43
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	15	810
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	1	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	2	3	63
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	19
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	5
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	0	99
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	33
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	5	41
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	3
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	5	358
	破傷風	0	0	0	0	0	1	0	67
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	45
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	3	49
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	3	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	1	1	101	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

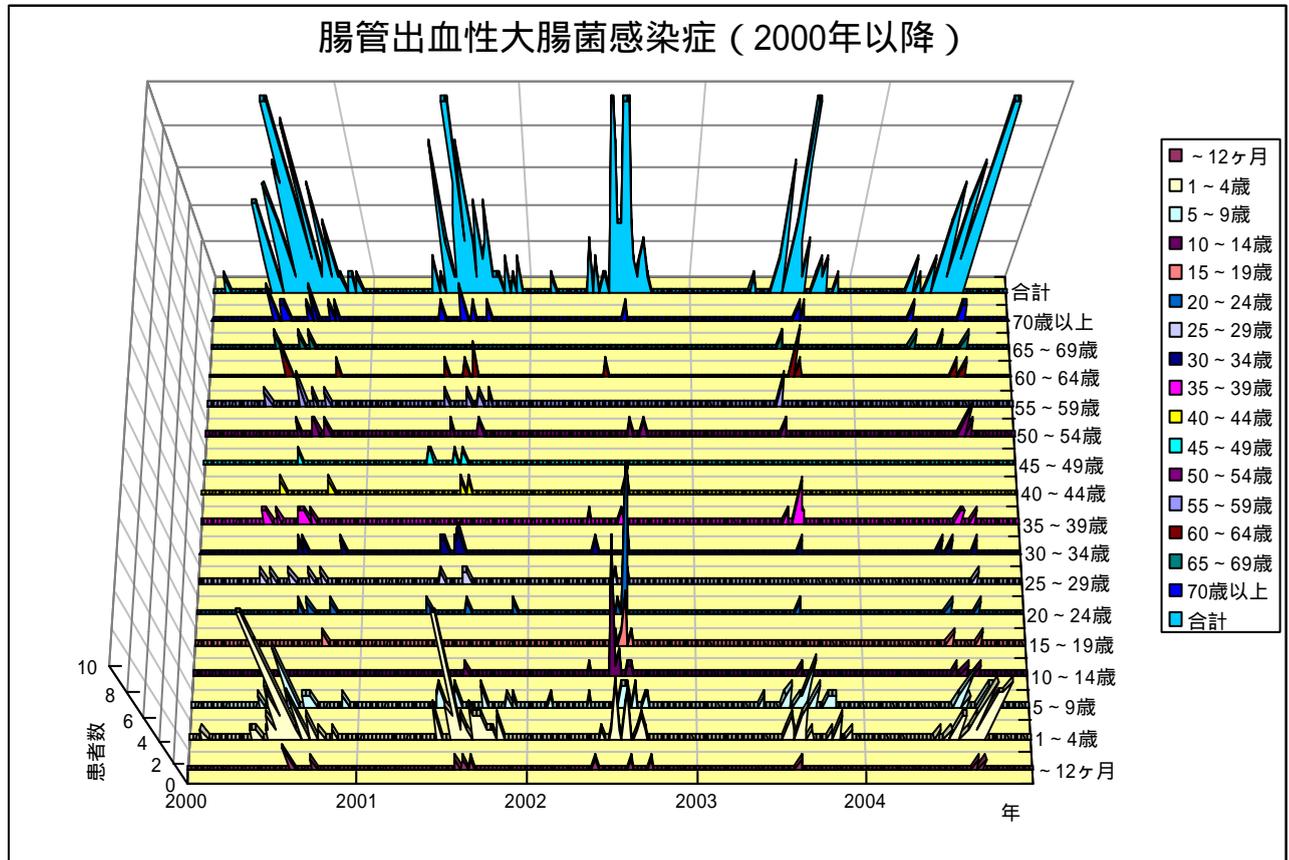
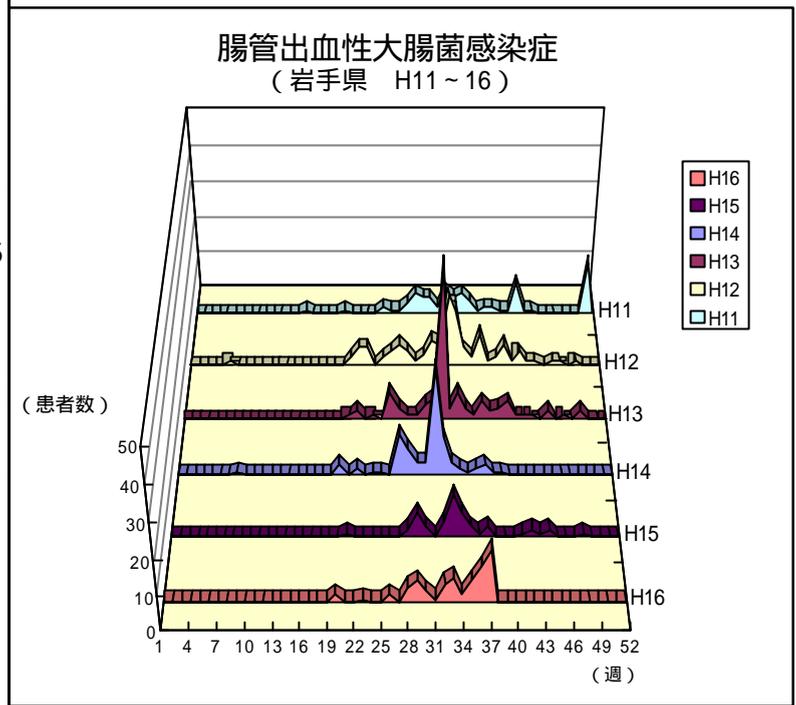
今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の発生が県内各地で続いています。県内では37週までに昨年同期を上回る64例の患者が確認されています。

全国的には、35週までに計2,545例の患者が発生しており、報告の多くは家庭内感染を含む散発事例ですが、保育所での集団発生が複数の都道府県で見られた他、飲食店における集団発生もありました。

感染の予防のため、家庭や保育所などでの徹底した手洗いが重要です。



病原体検出情報

- ・この週に検出した病原体はありません。

集団感染情報

クリプトスポリジウムによる集団感染例

千葉県健康増進課は、八月下旬に長野県内のスポーツ施設を利用した男女183人が下痢や腹痛、発熱などを訴え、患者の一部からクリプトスポリジウムを検出したと発表しました。また、発症者が千葉県内で利用したプール2カ所でも別の利用者46名が同様の症状を訴えており、このプール水からもクリプトスポリジウムが検出されています。

クリプトスポリジウムは病原性の原虫の一種で、通常の塩素消毒には抵抗性を持っています。下痢などの症状がある場合はプールなどの利用を控えることが大切です。

食中毒事件の発生について

1 事件の探知

9月21日（火）午前8時30分頃、秋祭りに参加した1グループの代表者から宮古保健所に「参加者及びその家族約20名が食中毒様症状を呈している。」との届出があった。

2 調査結果

宮古保健所の原因調査の結果、患者グループの発生時期、症状及び食事が共通していることから食中毒と断定し、また、共通食品が次の飲食店が提供した「おにぎり」のみであることから、本事件の原因施設等を次のとおり特定した。

- (1) 初発日時 9月18日（土）午後7時30分
- (2) 患者数 23名（通院6名、入院1名）
- (3) 主症状 吐き気、嘔吐、下痢
- (4) 病因物質 調査中
- (5) 原因食品 おにぎり
- (6) 原因施設 「食堂中しん」（飲食店（食堂））

3 保健所のとった措置

宮古保健所は、「食堂中しん」を9月22日（水）から9月24日（金）までの3日間、食品衛生法に基づき営業停止処分とした。

医療機関からの情報

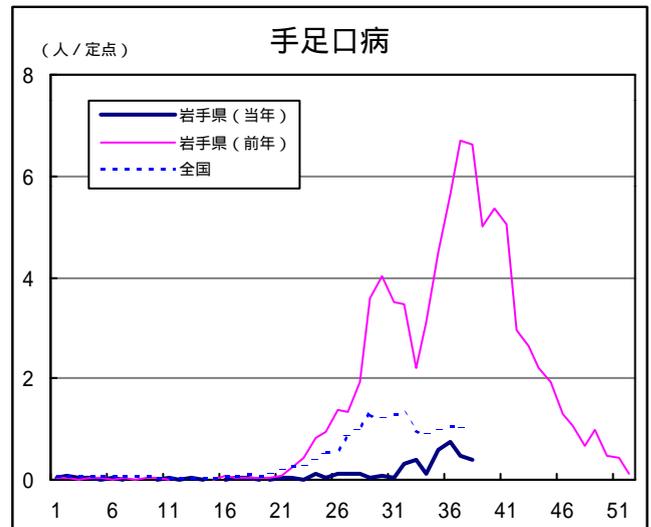
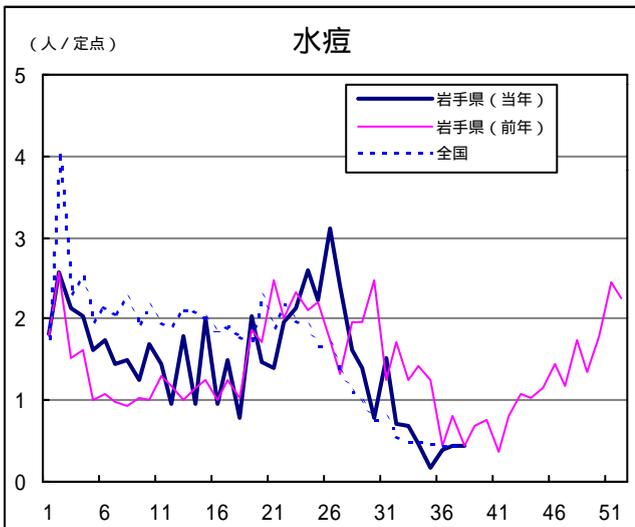
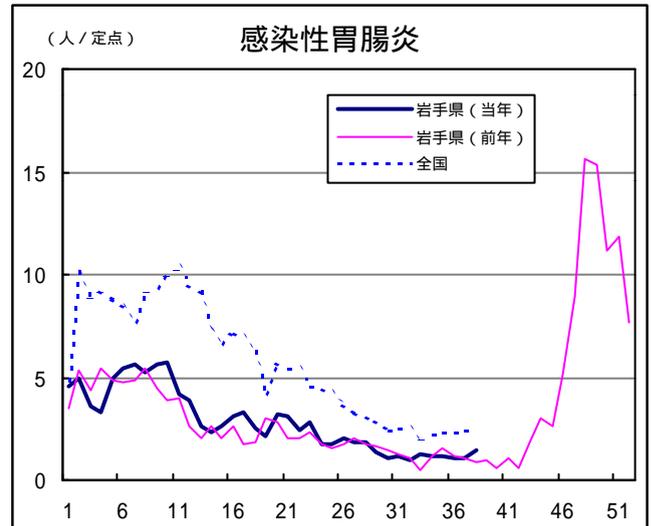
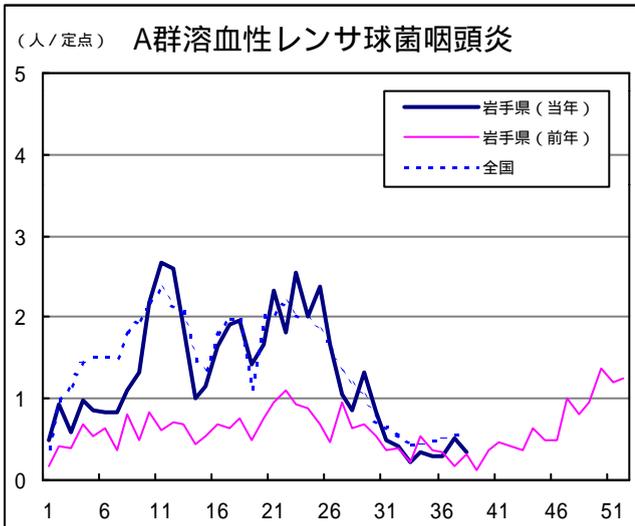
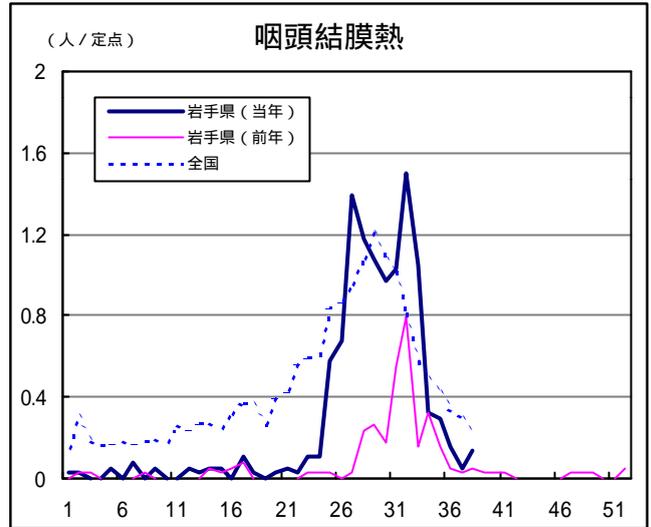
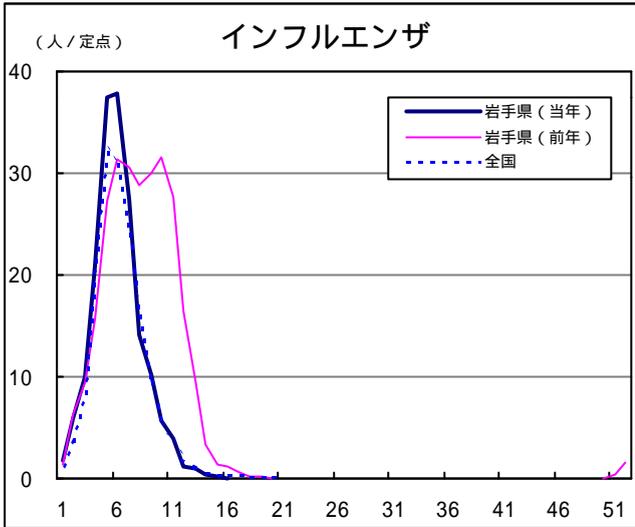
この週には医療機関からの情報はありません。

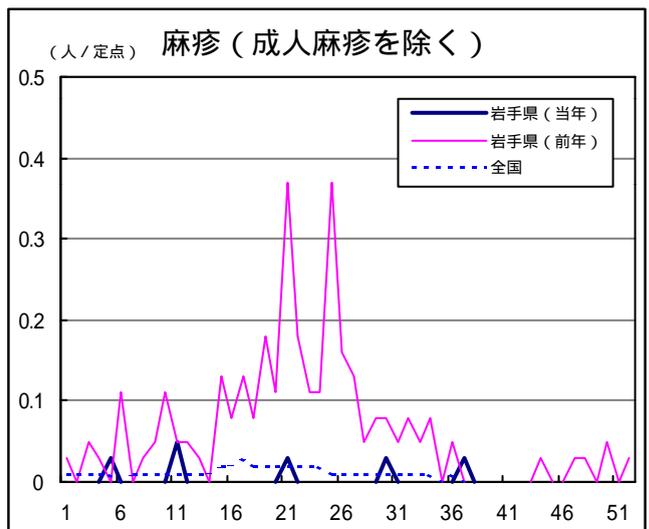
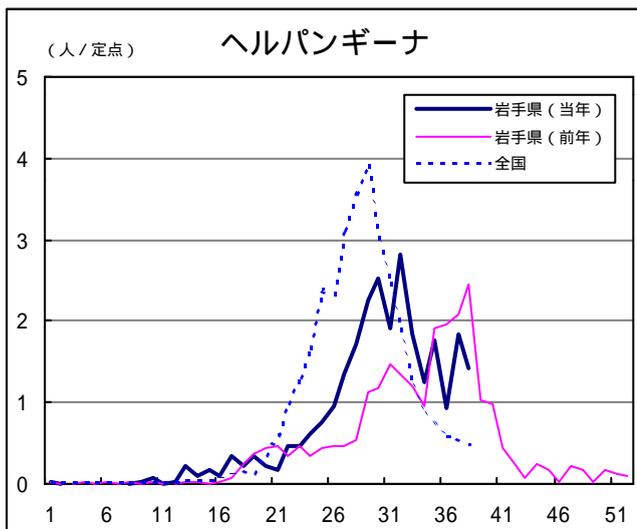
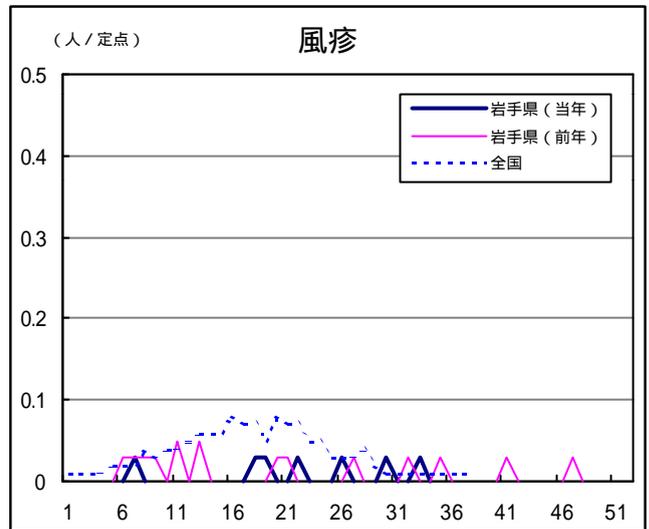
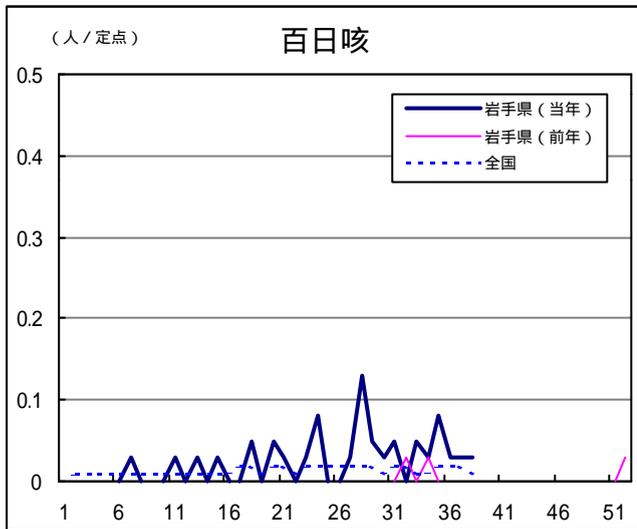
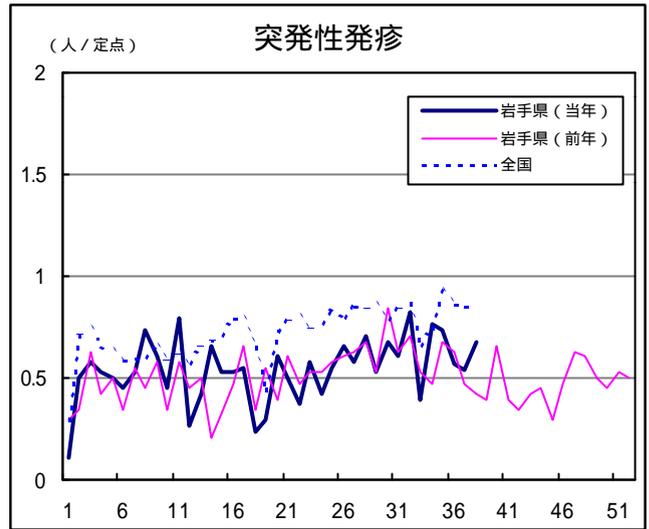
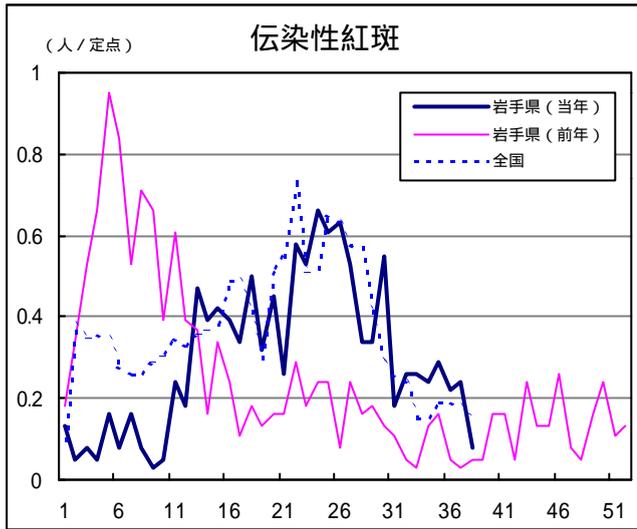
Q & A

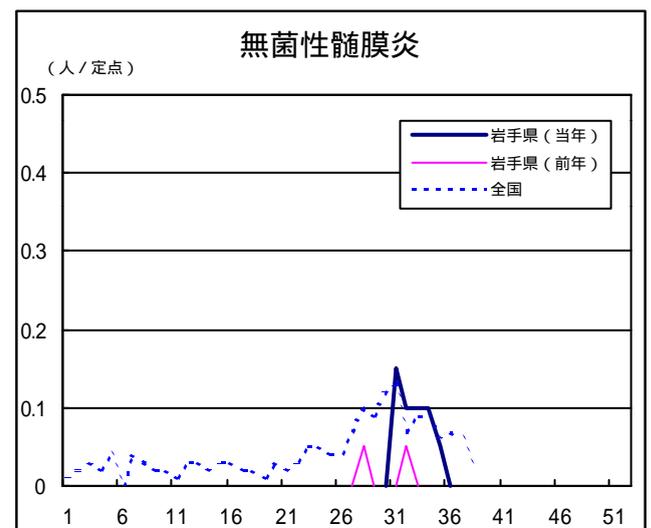
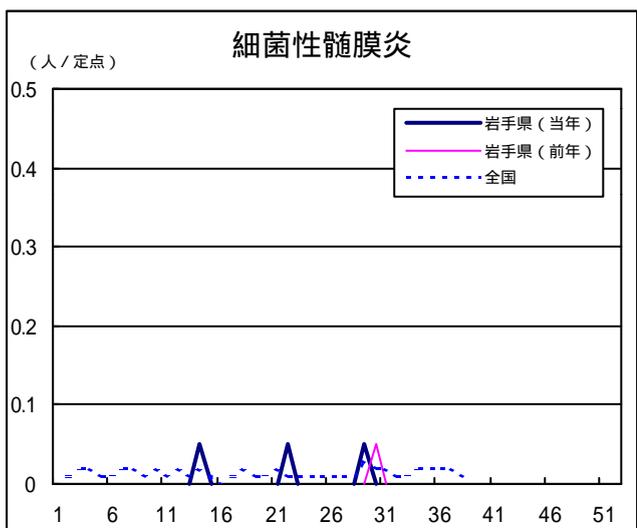
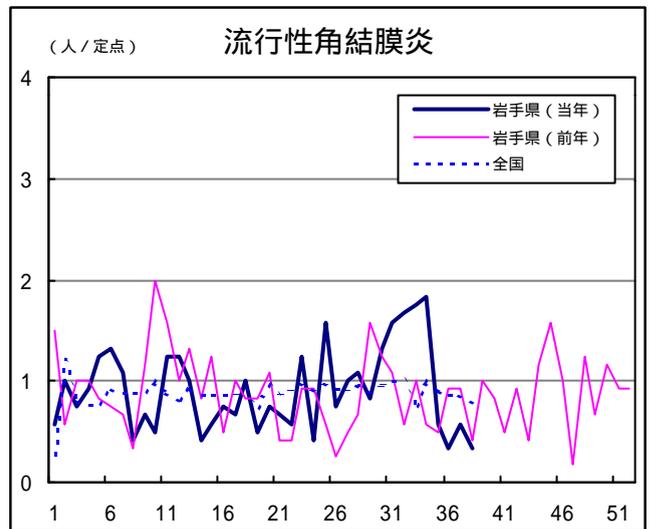
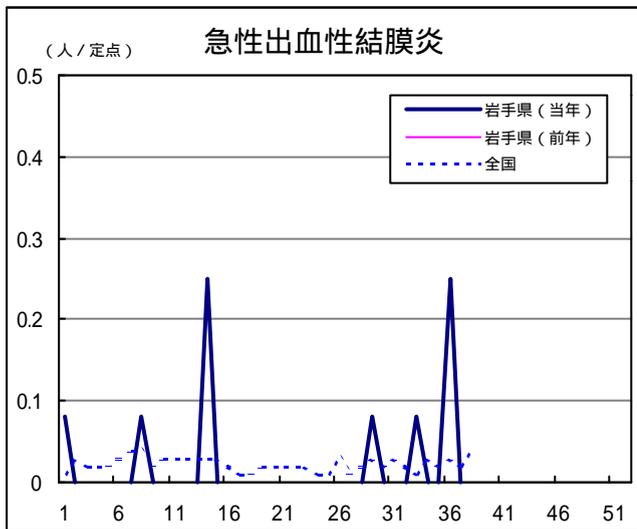
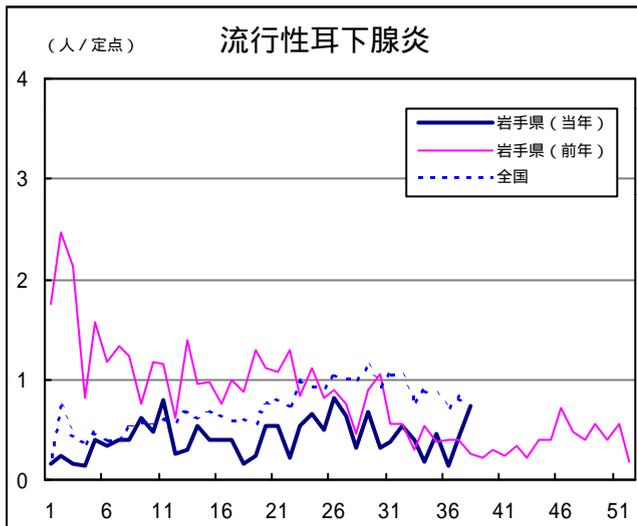
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

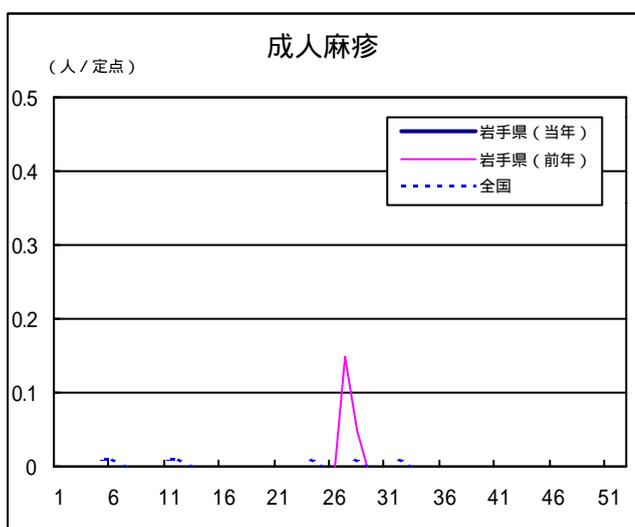
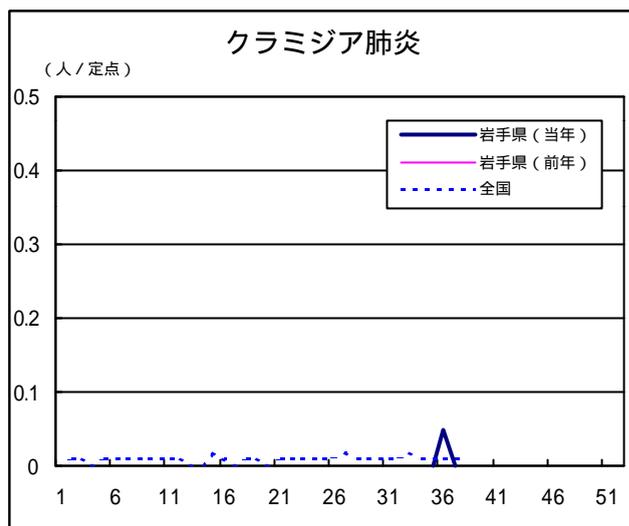
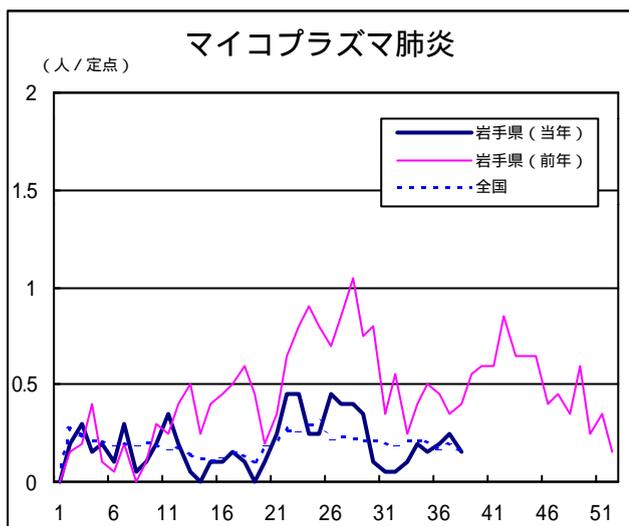
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL: 019-656-5669（直通） FAX: 019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

定点種別	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成16年第38週 平成16年9月24日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail:CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>